

わ せ だ ゆ き 早稲田夕季のひまわり通信

2010年 新年号 No.24



春風献上2010年

あなたの声で政治は変わります



新年おめでとうございます。昨年は私も市会議員2期目のスタートを切り、国政においては民主党の政権交代が実現しました。ご支援いただきました皆様に深く感謝いたしますとともに、ご期待にしっかりとお応えできるように全力で取り組んでまいります。

「政は正なり」、孔子の言葉です。現代政治に大変重いメッセージを投げかけています。襟を正し、信頼される市政を目指し今年も邁進してまいります。

平成21年度12月定例会の一般質問報告

大船観音前マンション

控訴審前に補助参加取り下げを

12月定例会での一般質問は、大船観音前マンションの行政訴訟の控訴審の第1回口頭弁論が、12月15日に東京高裁で開かれる直前でした。石渡前市長の任期切れ前、松尾市長就任前の間隙を縫うかのように、10月28日付で市は事業者側での補助参加の準備書面を東京高等裁判所に提出していたことが明らかになりました。補助参加取り下げを公約にした松尾市長が当選した後に、市長の主張とは全く反対の書面を出すことは背信行為に近いと考えます。

新市長のマネフェストの意向を無視して、準備書面を提出するという行為に対し、早稲田夕季は異議を唱えるとともに、松尾市長に補助参加取り下げの時期をたてました。

(詳細はブログ「鎌倉つれづれ」12月7、8日付)

安部川都市調整部長

市の弁護士を通じて、東京高裁から準備書面を10月28日まで提出するように言われた。石渡前市長が自分の任期中にできることはしておきたいという判断で任期中に提出した。

質問 前市長の任期中だからといって(新市長の判断も仰がずに)準備書面を提出してしまっただけは、行政マンとして失格かどうかを向いて仕事をしているのか。

質問 10月28日までと言われたにもかかわらず、市長が変わるといふような特別な理由で、少し期限を待ってもらえないかと確認することが、市民の立場に立った行政のあり方ではないか。期限延期が可能かどうか東京高裁に確認してほしい。

小村総務部長

東京高裁の担当書記官に照会したところ、一般論として補助参加人の準備書面は控訴人の控訴理由書の提出期限に合わせるのが通常である。当事者である原告、または被告が特別な理由がある場合には裁判官の判断によって延期を認められたことがある。

質問 11月1日から新市長が就任するので(準備書面の延期を)認めしてほしいと聞くのが当たり前ではないか。市長の主張と100%矛盾する。市長はこのことをどう考えるのか。

松尾市長 15日に準備書面が陳述されれば効力を発するので、その前までに判断しなければならぬと思える。

市長控訴から撤退

12月14日、控訴審の前口に全員協議会が午後7時過ぎに開かれました。松尾市長はこれまでの市の方針を転換し、「問題を早期に解決させるために、裁判から身を引く」ことを正式に発表し、控訴審への補助参加を取り下げました。

4年が経過し事業者の言われるままに裁判を続けていても、事業者との話し合いが行われるわけでもなく、全く解決の糸口さえ見出せませんでした。市長が新しい姿勢で問題解決に当たり、職員もこれまでの反省に立ち、一丸となって取り組んでほしいと思えます。

【連絡先】 早稲田夕季 後援会 〒248-0005 鎌倉市雪ノ下2-12-10 TEL&FAX 0467-24-9371(※)

ホームページ: <http://www4.ocn.ne.jp/~yuki12/> メール: himawari-yuki@quartz.ocn.ne.jp

※不在の場合は、留守電にお名前を入れて下さい

あなたの声をお聞かせ下さい!

「防犯ボランティア支援条例を求める陳情」を採択

9月5日早朝に、腰越在住の防犯NPOの代表自宅に、嫌がらせの域を超えた落書き、器物損壊行為が行われた事件を重く見て、防犯パトロールを行っている3自治町内会などが、事件の徹底解明と再発防止策、防犯ボランティアの安全と補償を確保するセーフティネットの条例を求める陳情大18号を提出。総員採択しました。

同じ趣旨で、嫌がらせの物損、暴走行為等、反社会行為の社会的制裁措置や、防犯監視のための

モニターカメラ設置を盛り込んだ陳情第20号は賛成少数で不採択。(鎌倉みらい、共産党、公明党、ネットワーク鎌倉、新かまくら民主の5会派が反対討論)。民主党市議団では飯野議員が両陳情の賛成討論を行い、どちらも賛成しました。市民協働の精神からも、市民の自主的な取り組みが安全に行われるように、行政、議会が積極的にバックアップする仕組みづくりは重要です。

「鎌倉市立小学校でのフリー教員の加配を求める陳情」を採択

鎌倉市では、平成19年度から1年生で、20年度から2年生まで少人数学級(35人まで)が実施されています。陳情は、さらに3年生～6年生で少人数指導を充実させるために、学年付きのフリー教員(非常勤講師)の増員を求めるものです。

教員は県費で各校に配置されており、市費で配置できるのは非常勤講師で、担任をもつことができません。そこで県採用の教員が増員されるまで、科目によりクラスを分けて指導する、あるいは

2人の教員で指導する体制がとれるような少人数指導の整備は重要と考え、民主党市議団は採択しました。

現在その対象となるのは11校、21クラス。11校に各1人ずつ採用すれば約2800万円の予算付けが必要です。「コンクリートから人へ」と転換した国は、教育環境整備をしっかりとやるべきです。市も緊縮財政ですが段階的に取り組んでほしいと考えます。



鎌倉市では、平成18年から今小路通り(六地藏)市役所前、寿福寺、川喜多記念館、鉄の井に至る1.5kmを安全に楽しく歩ける道路にしようと住民による協議が行われ、一方通行等の社会実験を行う予定でしたが、未だ着手されていません。住民からもなぜやらないのかと疑問視する声も上がっています。「まずはやってみよう」という姿勢で、一歩を踏み出すことが大切ではないでしょうか。

川越の見どころは「一番街」と呼ばれる重要伝統的建造物群保存地区を中心としています。町並み保全のため狭い道路幅員(9m)11mのまま、幹線道路として、また観光の拠点として交通量が多い一番街周辺の交通対策は、長年の課題でした。中心部の400m区間を17日間、終日一方通行に規制し、休日は歩行者天国にしました。歩行者が安心して歩ける環境にするため、社会実験によって課題を検証します。

埼玉県 川越を視察 (平成21年11月12日)



江戸の情趣あふれる蔵の町、川越を視察。「交通社会実験」と歴史的町並みの電線類地中化事業について勉強しました。

早稲田夕季プロフィール



- 鎌倉市議会議員(2期)、建設常任委員、決算特別委員
- 昭和33年12月6日生まれ
- 白百合学園小・中・高校、早稲田大学法学部卒業
- 日本輸出入銀行・地元ミニコミ紙記者
- 家族 夫・長女・長男・叔母(雪ノ下在住)